

- 1 日時 令和2年 1月27日(月) 午後2時～午後3時
- 2 場所 視聴覚室
- 3 内容
 - (1) 学校長挨拶
 - (2) 実施要綱第七条(保護者からの意見)に係る報告
特になし
- 4 本校の現状報告と取組み
 - (1) 令和元年度「学校経営計画・評価」について
 - ・「わかる授業」が63.2%と向上した。(昨年度48.5%)
 - ・「学校への満足度」が71.8%で、目標を達成した。
 - ・「エンパワメントスクールへ入学してよかった」が71.1%だったので、次年度は「成城に入学してよかった」の項目も入れて両方の項目から分析する。
 - ・遅刻・欠席が昨年度より増加している。
 - ・「将来の進路や職業について、適切な指導を行っている」が82.8%でほぼ達成した。
 - ・資格・検定試験は、年度末には目標の500名を達成する見込みである。
 - ・文化祭、体育祭を合わせた来場者数は1094名で、目標を達成した。
 - ・授業改善プロジェクトでは、昨年度は2回、中京大学の授業改革研究者と連携したが、今年度は本校教職員で研修を実施したいと声があがった。「何をどのように学び」また、「何ができるようになるのか」を明確に示し、「何ができるようになったのか」を中心に進めていく。
 - ・成城みらいプロジェクトでは、次年度は人材育成を軸に進めていく。
 - ・すべての教室に無線LANが使用できるよう、環境を整備していく。
 - ・中退率は、年度末に最終的な数値を入れる。
 - ・部活動加入率は今年度62%である。一年生も今年62%であった。
 - ・進路未決定卒業生率の数値は年度末に記入する。
 - ・中学校訪問は今年度218校行い、中学三年生の第二回進路希望調査は262名であった。
 - (2) 次年度の学校経営計画策定に向けての意見等
 - ・目標の設定値が適切な設定になっていて良い。
 - ・ICTを使うのも人、作るのも人、いじめ等の問題も人であり、人づくりが大切。
→エンパワメントスクールと意識して入学してくる生徒が本校には少ない。高い意識をもっている生徒に、もっと将来の希望が達成できるよう成城セミナーを立ち上げた。
 - ・いじめアンケートに「私はいじめられている」と記入する生徒はいるのか。
→実際にいる。本校ではいじめを早期発見、解決できるよう3段階に分かれて行っている。
 - ・いじめアンケートには書かなかったが、教職員の前でトラブルになった際の対応に不満が残った。
→確認する。
 - ・遅刻・欠席が増えているが、遅刻・欠席の質が以前より変わってきたと感じる。中学校のときに疾病や起立性調節障害等があったり、不登校経験のある生徒が多いのではないか。
→具体的な数値はここではわからないが、幅広く、多様な生徒が入学している。
→目標数値として、遅刻・欠席の数値を上げることは難しい。
 - ・今の成城で不登校経験者は合格できるのか。
→入試選抜方法も変わり、中には不登校経験のある生徒も入学している。
 - ・工業系・商業系の高校を希望する中学生は少ない中で、成城はまだまだ伸びていく余地はある。
 - ・挨拶を以前は生徒からしてくれたが、最近はこちらから挨拶しないとしてくれないように感じる。第三者が学校に行ったとき、挨拶で学校を判断することもある。
→以前から先生が先に生徒に挨拶するように伝えていたので、再度周知する。